

施設の概要

| | | | | | | |
|-----------------------------------|--|--|----------------|------|---------|----------------|
| 施設の名称 | 山梨県立県民文化ホール | | | | | |
| 施設の設置年月日 | 昭和57年11月23日 | | | | | |
| 施設の所在地 | 甲府市寿町26-1 | | | | | |
| 施設の設置(管理)条例の名称 | 山梨県立県民文化ホール設置及び管理条例 | | | | | |
| 施設の設置目的 | 芸術文化に関する県民の知識を深め、教養の向上を図り、もって県民文化の発展に寄与する。 | | | | | |
| 施設が提供する主なサービス | ①施設及び設備器具の貸出 ②文化芸術に関する催し及び講座の実施 ③舞台芸術の公演の実施 ④その他(駐車場運営、レストラン等飲食提供施設運営等) | | | | | |
| 施設の概要 | 建物構造等 | 地上4階、地下1階、塔屋1階、鉄筋コンクリート造り、一部鉄骨造り | | | | |
| | 敷地面積 | 約21,635 | m ² | 延床面積 | 約20,018 | m ² |
| | 主な施設内容:大ホール(客席(1989席)、ホワイエ含む)、小ホール(客席(700席)、練習室(1~5号)、リハーサル室、楽屋(1~13号)、会議室、県民ロビー、レストラン等飲食提供施設、駐車場(251台)、事務室、機械室、倉庫等 | | | | | |
| ネーミングライツ導入状況 | 平成23年度から、ネーミングライツを導入 H23.4.1~H31.3.31 コラニー(株) H31.4.1~(株)ワイ・シー・シー | | | | | |
| 施設の利用者数(令和6年度) | 273,553人(入館者・事業参加者合計) | | | | | |
| 管理経費(単位千円:令和6年度実績額) | 372,444千円 | | | | | |
| 収入状況(単位千円:令和6年度実績額) | 378,771千円 | | | | | |
| 主な料金体系 (平日一般) (令和9年4月1日施行後) | 大ホール1日236,320円 (午前33,210円、午後97,960円、夜116,780円) 小ホール1日86,570円 (午前23,740円、午後28,180円、夜39,690円) 大練習室1日15,830円 (午前3,120円、午後6,360円、夜6,950円) 小練習室1日7,910円 (午前1,560円、午後3,120円、夜3,480円)、 リハーサル室1日39,690円 (午前7,910円、午後14,390円、夜17,270円) | | | | | |
| 利用料金制の導入の有無 | 有 | | | | | |
| 現在の管理の状況 | 指定管理 | | | | | |
| | 指定管理者:アドブレーション・共立・NTT-F共同事業体 | | | | | |
| 施設所管部課(室)名 | 山梨県観光文化・スポーツ部文化振興・文化財課 | | | | | |
| | 電話番号:055-223-1797 | | | | | |
| | e-mail | bunka@pref.yamanashi.lg.jp | | | | |
| 施設のホームページ | http://www.yamanashi-kbh.jp/ | | | | | |

施設の課題

| 1 施設の基本課題 | | ※データは全て指定管理者制度とした令和18年度以降 |
|-------------------|--|--|
| 施設利用者の増加 | <ul style="list-style-type: none"> ・過去最高 平成30年度:371,733人 ・令和5年度:261,566人 ・令和6年度:273,553人 | コロナ後年々増加はしているものの、過去の高水準には達していないため更なる施設利用者の増加を図る。 |
| 稼働率の向上(大・小ホール平均値) | <ul style="list-style-type: none"> ・過去最高 平成30年度:73.3% ・令和5年度:72.5% ・令和6年度:69.5% ※休館期間を含む年度を除く | 過去の最高値に近づいているが、更なる稼働率の向上を図る。 |
| 駐車場不足への対応 | | 大規模イベントの開催時や大・小ホール利用時における駐車場が不足する場合において、利用者へのサービス低下を軽減するため適切に対応する。 |
| 2 今後の課題等 | | |
| 今後、一層期待される役割 | 本県の芸術文化のハブとしての機能の充実 | より多くの県民に芸術文化体験や育成機会を提供するため、地域の芸術団体による出張公演の開催や、若手人材の育成と発表の場の創出、県内の他施設の公演情報の発信など、「本県の芸術文化のハブ」としての役割を果たしており、唯一の県立施設としてもその役割はますます重要視されている。 |
| | 芸術文化を担う人材の育成と発表の場の創出 | 文化ホール内で終始する舞台芸術の取り組みに限らず、多様な主体との連携を図るなかで、本県の芸術文化を担う人材の育成や発表の場の創出、支援等が期待される。 |
| 更なる利用の促進 | 平日の利用促進 | 施設の活用を図り、また、稼働率の向上に繋げるため平日の利用を促進する。 大・小ホール稼働率:休日約90% 平日約60% (R5年度) |
| | 多様な用途の利用促進 | 施設利用者の裾野拡大を図るため、舞台芸術や発表会、式典等に限らず多様な用途の利用を促進する。 |
| 集客力の向上 | 施設の集客力の向上 (リピーターの確保や県外からの誘客等) | 文化ホールを年に複数回利用してくれる利用者を創出する。 地域への波及効果が期待される県外からの誘客に繋がる公演等を誘致(実施)する。 |